

新しい公募プログラムがスタート！ 「ART LEAP 2018」 展覧会プラン募集について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当センターのご利用および企画運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、神戸アートビレッジセンターでは、公募プログラム「ART LEAP」を開催する運びとなりました。

当センターは、美術、演劇・ダンス、映像、音楽などの幅広い芸術文化を神戸から発信する総合芸術文化施設です。美術事業では、作家と連携した展覧会づくりを重視し、枠にとらわれない美術表現の可能性を追求する展覧会を実施しています。その中で「神戸アートビレッジセンター」(1996-2005)や「1floor」(2008-2017)といった20代を対象とした育成支援プログラムをこれまで実施してきました。2018年度からは、引き続き20代への育成支援を行いながら、その先の世代となる30代～40代へも支援の幅を広げ、これからを担う芸術家にとってのステップアップの場をより広く提供すべく「ART LEAP」を始動します。記念すべき第1回目の審査員には、美術評論家の建島哲氏をお迎えし、選出された1名(組)の作家は、2019年2月～3月に当センターにて個展を開催いたします。シアターやスタジオのようなホワイトキューブとは異なる会場をポジティブに捉え、その特性を生かし、表現の可能性を広げることのできる作家、および幅広い作品・展覧会プランを募集いたします。企画名にある”LEAP”とは、飛び跳ねる、跳ぶ、飛び越えるという意味を持つ言葉です。経験を積み重ねた作家にとって、本企画が新たな表現の創造と意欲的な挑戦の舞台となることを期待します。

つきましては、報道関係者の皆様方におかれましては、ご多忙のところ大変恐縮ではございますが、今後とも本企画のPRにあたりご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

「ART LEAP 2018」開催概要

会期：2019年2月23日(土)～3月17日(日)

会場：神戸アートビレッジセンター

(1F・KAVCギャラリー、B1F・KAVCシアター、B1F・スタジオ3)

□審査員(敬称略)

建島哲(たてはたあきら) / 美術評論家、詩人

□募集人数

1名(組)(グループでの応募も可)

□応募・参加資格

1) 2018年3月末の時点で、30歳以上50歳未満であること。

(グループの場合、全員が上記の年齢の枠内であること。)

2) 日本在住で日常会話程度の日本語力を有すること。

3) 芸術家として活動し、発表経験があること。

4) 基本的に新作の出品が可能であること。

5) 展覧会の制作プロセスに関心を持ち、ミーティングや会期中

の来館など展覧会への積極的な参加が可能であること。

□応募受付期間

2018年4月5日(木)※当日必着



お問合せ：神戸アートビレッジセンター(担当 岡村・大泉)

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356

「ART LEAP 2018」

□スケジュール（予定）

4月5日（木）：応募締切
4月中旬：一次審査 / 通過者決定、結果通知報告 / 公開プレゼン参加依頼
5月19日（土）最終選考、公開プレゼンテーション / 出品作家決定
5月～2019年1月：ミーティング・展覧会制作
2019年2月18日（月）～22日（金）：展覧会搬入
2月23日（土）～3月17日（日）：展覧会実施
3月18日（月）～3月20日（水）：展覧会搬出
3月末：展覧会記録カタログ発行

□会場見学会

2月28日（水）、3月8日（木）19:00～
参加希望者は電話（078-512-5500）もしくはメール（art@kavc.or.jp）にてお申し込みください。
メールの場合は、件名を「会場見学会希望」とし①氏名②参加日③電話番号をご明記ください。

□審査員プロフィール

建畠哲（たてはたあきら） / 美術評論家、詩人

1947年、京都府生まれ。早稲田大学文学部仏文学科卒業。「芸術新潮」編集者、国立国際美術館主任研究官、多摩美術大学教授、国立国際美術館長、京都市立芸術大学学長を経て、現在、多摩美術大学学長。全国美術館会議会長。埼玉県立近代美術館長、京都芸術センター館長、草間彌生美術館長を兼任。1990年、1993年にヴェネチア・ビエンナーレ日本館コミッショナー、2001年に横浜トリエンナーレ、2010年にあいちトリエンナーレ、2017年に東アジア文化都市京都のメイン事業「アジア回廊」展の芸術監督。詩人としては、『余白のランナー』で歷程新鋭賞、『零度の犬』で高見順賞、『死語のレッスン』で萩原朔太郎賞を受賞。

《審査員コメント》

このコンクールはユニークな、しかし考えようによってはきわめてオーソドックスでもある方針を有しています。一人だけの審査員が一人（もしくは一組）のアーティストだけを選び、新作による個展を開催するというもので、これまでの実績を踏まえつつさらにスケールの大きな舞台での活躍を目ざそうとしているアーティストにとっては、絶好の機会となることでしょう。意欲的な挑戦を期待しています。

□サポート内容：

- 1) 制作補助費：50万円
- 2) 来館交通費補助※上限あり
- 3) 搬入搬出期間中の宿泊費補助
※上限・条件あり。原則、近畿圏外あるいはスケジュールによる。滞在先はセンター指定となります。
- 4) 展覧会にかかる基本経費
- 5) 神戸アートビレッジセンタースタッフによる展示並びにキュレーション・サポート
- 6) 広報協力（当館HP、広報誌への展覧会紹介、プレスリリース、メールニュースの送付など）
- 7) 展覧会記録カタログの作成

□公開プレゼンテーション（最終選考）

一次審査通過者による展示プランのプレゼンテーションを行い、出品作家を決定します。プレゼンテーションは一般公開。
日時：5月19日（土）14:00～
会場：神戸アートビレッジセンター 1階・KAVC ギャラリー



建畠哲氏

お問合せ：神戸アートビレッジセンター（担当 岡村・大泉）

〒652-0811 神戸市兵庫区新開地 5-3-14 TEL 078-512-5500 FAX 078-512-5356